

高齢者こそ
元気なまちづくり
の中心者だ！

山口勝士が問う



「高齢者が輝くまち」とは

答弁「自身の能力が
発揮できる町です」

Q 第5次総合振興計画の基本目標には「人が輝くまち」とあるが、これらのまちづくりにとって重要な「高齢者が輝くまち」とは。

A 長生き支援課長 高齢者が自らの経験を生かし、自主的な地域活動や貢献を積極的に行い、それが高齢者自身の幸福感・充実感につながる取り組みが、町全体に広がっている町と考えます。

Q 高齢化を前向きにとらえ、「高齢者が輝く町計画」を作成し、これからの

まちづくりの観点を明確にするには。

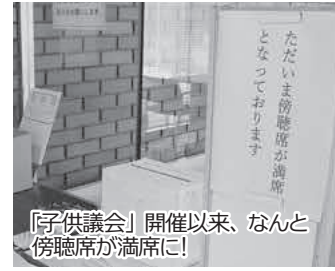
A 長生き支援課長 町では「高齢者福祉計画」を策定しています。その中では地域の団体やボランティアなど、多様な協力を得て地域全体で高齢者を支えるとしています。実態としては、それらの団体やボランティア活動そのものが高齢者によって組織・運営されているものが多く、高齢者が町を支えている比重が大きいといえます。今後は高齢者が「町を支える大きな力」であるという視点を持って、高齢者福祉計画を策定する必要があると考えます。

その他の質問

・素敵な図書館の積極的な活動展開を
・「素敵な場所はたくさんあるのに」の声を形に



年齢なんて関係ない！ みんなが活躍し支え合うステキな町に（腰中区100歳体操）



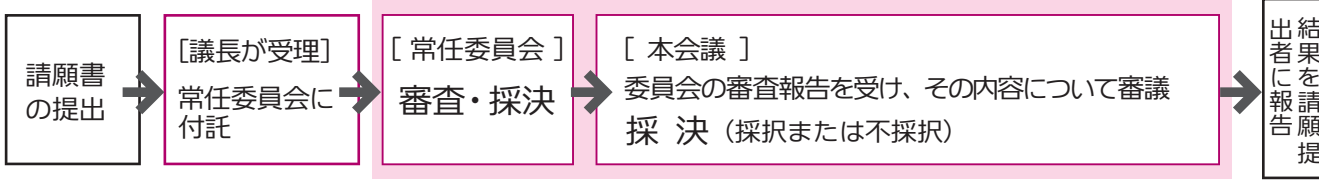
2月末頃から閲覧できます

「子供議会」開催以来、なんと傍聴席が満席に！

請願3件を慎重に審査

一度に3件の請願が提出され、12月定例会にて審査を行いました。「賛否両論」議場は緊迫した空気に包まれました。（討論は要約しています。詳しくはQRコードからご確認を）

【請願の流れ】



請願第9号 「日米地位協定の見直しを日本政府に求める意見書」の提出を求める請願 (R1.11.18) (紹介議員) 本多重信・井口亮一	総務常任委員会 「賛成多数」 採択すべき	【反対討論】「日米地位協定」「日米安全保障条約」「憲法」の同時改正こそが請願を叶える最短ルート。単独での改正（見直し）は現実的にできない。 【賛成討論】米軍機による低空飛行訓練は、平和、平穏、安全、安心に暮らす住民の権利を脅かしている。自治体が声を上げることにより、「見直し」の機運を高める。 本会議では…賛成少数により「不採択」
請願第10号 パトリアおがわプール、浴場継続検討を求める請願 (R1.11.18) (紹介議員) 井口亮一	厚生文教常任委員会 「賛成少数」 不採択とすべき	【反対討論】近隣自治体にはない魅力のある施設で人を呼び込むべきだ。また、どのように運営すれば継続できるのか、利用者を交えての再検討を望む。 【賛成討論】利用者に安全・快適に使用してもらうには多額の維持費がかかる。だからこそ「今、ここで」施設転換の判断をすべきだ。 本会議では…賛成多数により「不採択」
請願第11号 「(仮称)笠原・飯田残土処分場事業」計画事業の許可申請が提出された際には「不許可の対処」を求める「意見書」を埼玉県に提出することに関する請願書 (R1.11.19) (紹介議員) 笠原英彦・根岸成美・戸口勝	経済建設常任委員会 「賛成皆無」 不採択とすべき	【反対討論】当該事業者は太陽光発電事業へと事業転換を示唆しているが、残土が持ち込まれる脅威を拭い去ることはできない。町の姿勢を県に示すべきだ。 【賛成討論】許可権者の県に対し議会が要望書を提出するには、現状と今後の計画を正確に把握しなければならない。 本会議では…賛成多数により「不採択」

※（ ）内の日付は請願受理日

小川町が好きだからその一言



小出文男さん (池田) KOIDE Fumio

「**昨**今、道の駅が全国で続々と誕生し、各地の重要な観光スポットとしてそのにぎわいを見せている。それに比し、当町に設置された道の駅は、地元にと多くの観光資源を有しながらもいわゆる道の駅としての施設が小規模であり、またその提供するサービスも多くの観光客を呼び込むにはやや魅力に欠ける部分があるのではなかろうか。小川町でも最近では各種イベントを開催するなど町おこしに向けた活発な動きがなされており、これらイベントは相応の成果をおさめていると思料されるが、町を根本的に活性化させるには、それらに加えて期日ないしは期間限定ではなく常時、観光客を呼び込むことのできる人気施設が必要である。「道の駅おがわまち」には、こうした役割を積極的に果たしていくことを期待したい。」

わたしの
コメント

社会科見学や宿泊学習など、小学校の校外学習で訪れる田舎町。そんなイメージを抱いていた小川町に嫁ぎ、14年になります。子育てを楽しむ暮らしの中、いろいろな小川町を発見することができました。豊かな自然や歴史ある町並みなど、県内外からたくさんの子供がイメージを抱き、学習に訪れています。私たちが住む小川町が学校の教材として扱われていることは、ほかの市町村にはない魅力、誇れることだと気づかされます。先日、都内でコース料理を注文すると、初めに「小川町産の有機野菜を使用した蒸し料理」が並びました。都会のレストランも認める小川町の資源（野菜）を、とてもうれしく思いました。ほかにもたくさんの誇れるものがある小川町。もっと発信して、もっと元気な小川町にしたいです。

子育てを楽しんでいます



宮寺麗子さん (春日町) MIYADERA Reiko

請願 採択の基準は？
一般的には「願意が妥当であるか」「実現の可能性はあるか」「町の権限、議会の権限に属する事項であるか」等が、その判断基準とされている。（議員必携）より抜粋

